



|                     |               |          |          |           |        |        |         |   |       |
|---------------------|---------------|----------|----------|-----------|--------|--------|---------|---|-------|
| 北久太郎町二丁目<br>高田慶次郎   | 東京ばつちり<br>生白粉 | 五、〇〇〇    | 四、五〇〇    | 四、七、四三六   | 二、二五   | 一、九〇〇  | 一、九七六   | 有 | 八、一九五 |
| 同                   | 美雪白粉          | 八、〇五三    | 八、一〇〇    | 一、一、一六〇   | 九八四    | 九九〇    | 一、三六四   | 〃 | 二〇四八  |
| 同                   | 都錦おしろい        | 二、七〇〇    | 二、七二二    | 一、八八四     | 二〇四    | 二〇五    | 一四三     | 無 | —     |
| 博勢町二丁目三三<br>松尾楠造    | ホワイト白粉        | 二四、〇〇〇   | 一八、〇〇〇   | 一四四、〇〇〇   | 四四、〇〇〇 | 三三、〇〇〇 | 二六、四〇〇  | 有 | 四、五七〇 |
| 同                   | 生白粉           | 一、六、七〇〇  | 一、六、六七〇  | 六、六、六七〇   | 二、五〇〇  | 一、七五〇  | 一、二〇〇   | 〃 | 七、七九五 |
| 兩替町二丁目四<br>竹中徳三郎    | クレハリキユ<br>ド   | 三、六〇〇    | 一、九、二〇〇  | 四、二〇〇     | 九一五    | 四八八〇   | 一、〇六七   | 〃 | 三、八二四 |
| 常盤町二丁目八<br>廣瀬小三郎    | ツキワ煉白粉        | 一、〇、〇〇〇  | 一四、〇〇〇   | 一、五、六、〇〇〇 | 二四、〇〇〇 | 三二、二〇〇 | 三三、八〇〇  | 〃 | 三、七二五 |
| 農人橋一丁目二五<br>奥井萬藏    | 女學煉白粉         | 二、八八〇    | 三、八四〇    | 三、九、〇〇〇   | 九、一二〇  | 二、一六〇  | 一、二、五四〇 | 〃 | 四、九九三 |
| 西區京町堀上通四ノ六<br>杉本勇之助 | バツチリ<br>生白粉   | 七、八、〇〇〇  | 七、二、〇〇〇  | 七、二、〇〇〇   | 二、六〇〇  | 二、四〇〇  | 二、四〇〇   | 〃 | 三、五九五 |
| 南堀江下通一ノ二七<br>吉見晴吉   | 鉛白角           | 一、九〇、〇八〇 | 一、九〇、〇八〇 | 二〇、二、九二〇  | 六、五三四  | 六、五三四  | 六、五、六三  | 〃 | 七、八二五 |
| 同                   | 調合角           | 一、五、〇〇〇  | 一、六、六八七  | 一、八、七五〇   | 四〇〇    | 四四五    | 五〇〇     | 〃 | 三、〇七三 |
| 南堀江一番町一五<br>福田六三郎   | 生白粉           | 九、五、五、六〇 | 九、八、二、六〇 | 九、四、五、四〇  | 一、三、〇〇 | 一、三、六八 | 一、二、九三  | 〃 | 五、三三  |
| 同                   | 生白粉           | 一、六、七〇〇  | 一、二、二五〇  | 一、六、七〇〇   | 三〇〇    | 二〇〇    | 三二〇     | 〃 | 七、七二六 |

|                    |       |         |           |           |         |         |         |   |        |
|--------------------|-------|---------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---|--------|
| 同                  | 唐土    | 六、〇〇〇   | 四、〇〇〇     | 四、〇〇〇     | 二〇〇     | 七〇      | 八〇      | 〃 | 七、四九五  |
| 上綿屋町一〇八<br>安田一郎    | 玉白粉   | 二、七、九七  | 二〇、九七     | 一、三、九三〇   | 七〇〇     | 四二〇     | 三、五〇    | 〃 | 二〇、三五  |
| 同                  | 煉白粉   | 五、〇〇〇   | 五、〇〇〇     | 三、八、九〇〇   | 一、八〇〇   | 一、八〇〇   | 一、五、七五  | 〃 | 三、六、六九 |
| 同                  | 玉白粉   | 三、五、五五  | 三、五、五五    | 三、五、五五    | 一四      | 一四      | 一四      | 〃 | 一、七四〇  |
| 同                  | 都雪さらし | 二、三、七七  | 二、三、七七    | 一、七、七七    | 七、八六    | 七、八六    | 六、八六    | 〃 | 九、二    |
| 同                  | 生白粉   | 五、四、〇〇〇 | 五、四、〇〇〇   | 一、九、七〇〇   | 一、二、二〇  | 一、二、二〇  | 九、九七    | 〃 | 七、七八三  |
| 同                  | 生白粉   | 四、六、七〇〇 | 五、六、四、〇〇〇 | 三、六、〇、〇〇〇 | 六、八、三   | 八、六、九五  | 五、五、五〇  | 〃 | 七、八三二  |
| 岸和田市北町<br>宮内良一     | 生白粉   | 四、六、七〇〇 | 五、六、四、〇〇〇 | 三、六、〇、〇〇〇 | 六、八、三   | 八、六、九五  | 五、五、五〇  | 〃 | 七、八三二  |
| 北久寶寺町二ノ三八<br>長瀬由兵衛 | 煉白粉   | 二、〇〇〇   | 一、一、〇〇〇   | 九、八、〇〇    | 六、〇〇〇   | 五、五、〇〇  | 四、九、〇〇  | 〃 | 五、七、三六 |
| 同                  | 固煉白粉  | 二、〇〇〇   | 一、一、〇〇〇   | 九、八、〇〇    | 六、〇〇〇   | 五、五、〇〇  | 四、九、〇〇  | 〃 | 六、八二九  |
| 同                  | 粉末白粉  | 二、〇〇〇   | 一、一、〇〇〇   | 九、八、〇〇    | 六、〇〇〇   | 五、五、〇〇  | 四、九、〇〇  | 〃 | 六、八三   |
| 同                  | 生白粉   | 二、〇〇〇   | 一、一、〇〇〇   | 九、八、〇〇    | 六、〇〇〇   | 五、五、〇〇  | 四、九、〇〇  | 〃 | 六、八三   |
| 南堀江下通一ノ二七<br>吉見晴吉  | 鉛白汁   | 一、一、〇八〇 | 一〇、九、九〇   | 一、一、六、二〇  | 五、〇、九七  | 五、〇、五五  | 四、九、九七  | 〃 | 七、一、九  |
| 同                  | 煉白粉   | 三、五〇〇   | 三、六〇〇     | 三、四〇〇     | 一、三、三〇  | 一、三、六八  | 一、二、九三  | 〃 | 七、四四二  |
| 同                  | 煉白粉   | 七、八、〇〇〇 | 七、八、〇〇〇   | 七、三、〇〇〇   | 二、八、〇八〇 | 二、八、〇八〇 | 二、五、九三〇 | 〃 | 四、三、九  |
| 同                  | 煉白粉   | 二、四、〇〇〇 | 二、四、〇〇〇   | 二〇、〇〇〇    | 一〇、八〇〇  | 一〇、八〇〇  | 九、〇〇〇   | 〃 | 七、五、九  |

三種あるも  
各別に調査  
不能のもの  
なり

|                     |        |         |          |        |        |        |        |   |       |
|---------------------|--------|---------|----------|--------|--------|--------|--------|---|-------|
| 上綱屋町三四八<br>岡本新三郎    | 白鉛     | 三〇〇〇    | 三〇〇〇     | 二六〇〇〇  | 一〇、八〇〇 | 一〇、八〇〇 | 七、八〇〇  | 有 | 七、四七八 |
| 上本町九ノ二五〇<br>萩田商會    | 白鉛     | 一〇、七九三  | 九、七六二    | 一四、三七四 | 三、六二八  | 三、一七三  | 五、五三六  | 〃 | 三、七二五 |
| 同                   | 生白粉    | 〃       | 〃        | 〃      | 〃      | 〃      | 〃      | 〃 | 〃     |
| 伶人町六五<br>土佐彌一郎      | 煉白粉    | 五〇〇     | 五〇〇      | 五〇〇    | 一二五    | 一四〇    | 一五〇    | 〃 | 三、四〇三 |
| 泉南郡北掃字村<br>加字田俊章    | 煉白粉    | 一、一五〇   | 一、五〇〇    | 九、五七〇  | 五、七五〇  | 四、七三三  | 四、三〇〇  | 〃 | 六、九〇八 |
| 同                   | 生白粉    | 〃       | 〃        | 〃      | 〃      | 〃      | 〃      | 〃 | 〃     |
| 泉南郡土生郷村<br>泉南白粉製造會社 | 白鉛     | 三、四〇〇   | 一、一〇七    | 六、二二〇  | 七、九四   | 二、七六   | 一、八五八  | 〃 | 七、五四〇 |
| 泉北郡高石町<br>七野米次郎     | 白鉛     | 二、三〇〇   | 二、一〇〇    | 二、一〇〇  | 五、二〇〇  | 五、〇〇〇  | 二、三〇〇  | 〃 | 七、三二五 |
| 泉北郡高石町<br>炭谷喜代松     | 白鉛 一等品 | 一〇〇,〇〇〇 | 一、一〇,〇〇〇 | 八〇,〇〇〇 | 二九,〇〇〇 | 三三,〇〇〇 | 二四,〇〇〇 | 〃 | 七〇、四八 |
| 同                   | 白鉛 二等品 | 〃       | 〃        | 〃      | 〃      | 〃      | 〃      | 〃 | 〃     |
| 泉北郡高石町<br>七野勝太郎     | 白鉛     | 五、〇〇〇   | 五、〇〇〇    | 四、〇〇〇  | 一、〇〇〇  | 一、一〇〇  | 九〇〇    | 〃 | 七〇、五五 |

更に京大藤野氏の研究(大正十四年十二月發表)に従ひ現今坊間に販賣せらるゝ玩具の塗料に就て含鉛状況を掲ぐれば左の如くである。

一、「セルロイド」製玩具類の大部分(著色料を地質に應用したるもの及地質以外に染料にて著色したるもの)は浸出煮沸の二法により鉛を検出し得ずと雖燃燒法によりては鉛を多量に検出した。

然れども上述の外に白色塗料を用ひたるもの例は「キューピー」の眼の白き處鉢巻の白點、西洋人形(娘)の眼の白き部、持てる花籠の白き部白襟、デンク太鼓、ガラ、金時白犬の白犬に塗られたる部等は(一見して白色塗料の使用を認識し得)浸出法のみにより容易に鉛の含有を證明し得る。

二、布製玩具は浸出煮沸により鉛を検出せなかつた。

三、紙製玩具類は其の大部分に鉛を含有せざれども電車遊びの或るもの(紙箱に停留所名繰り出し附)に赤色光澤を有する部に疑しき程度を示し燃燒により確實に鉛を検出した。

四、金屬性玩具種は浸出煮沸二法共鉛検出不能にして燃燒法によりて多量の鉛を證明した粗製なる「ハーモニカ」には木製附屬部(歌口)に鉛を検出した。

五、ごむ製玩具は人形、毬の如き灰白色地質軟性ごむ青、緑、赤、黄著色部に浸出煮沸二法にて鉛を検出することが出来なかつたが燃燒法によりて鉛を證明した。

薄き「ゴム」ふうせんの類には(地質赤紫青)二十五個中五個の含鉛ふうせんを證明し得た、之等含鉛ふうせんは一種の光澤を有し二五%醋酸に浸し着色料の脱離し易き傾向を有する事を認めた。

六、木製玩具類中淡白なる著色料を使用したもの例は機械體操臺所道具等は鉛を含有せざれども

「エナメル」塗料を用ひたるものは浸出煮沸二法にてはクロム酸加里と硫化水素の作用により沈澱を生ずれども他の沃度加里稀硫酸には變化なく燃焼法によりて鉛の存在を確認する事を得た。

七、粘土及陶器製玩具類は大部分鉛を含有し粘土製玩具類は黄色第一位で紺青之に次ぎ赤色は第三位で他の色に於ては鉛含有する事少くなきを認めた陶器製玩具は其の色彩に別なく何れの色にも多量に鉛を含有して居る、玩弄品として最も危険なるものである。

八、其の他雜種類中「クレヨン」は十二色中二五色陶器著色料は悉く含鉛物なるを認めた而して錫箔は燃焼法のみにより含鉛物を證明するのである。

以上述べたる如く榮養障礙死亡乳兒の榮養方法は其授乳方法極めて幼稚である。又母乳榮養の變換は其度を失し加之人工榮養品を以て哺育するに當り當を得たるものは稀である。此の事實より考察すれば榮養方法の如何が榮養死亡乳兒殊に天資薄弱なる乳兒の健康上に及ぼしたる危害は、極めて大なるものと謂はなければならぬ。

是等は經濟的殊に授乳婦の榮養問題或は婦人の職業的關係として觀るべきものありと雖も、其大多數は智的關係即ち女子母道教育の如何、就中母乳の利と人工乳の害を知らずして不用意なる榮養方法を採りたるもの、或は乳腺の生理的智識に暗きもの、或は乳兒消化機能を顧慮せざる不規則なる授乳等一般乳兒保育上の智識の低級に基くもので斯くの如きは須臾も等閑に附すべからざることであると思ふ

## 第二篇 先天性弱質死亡乳兒に關する研究

最近の統計に據れば我國の乳兒死亡は總死亡千に付乳兒死亡は二四二であるが内一〇一は生後一ヶ月以内の早死者である、即ち總死亡の約四一・七％は生後一ヶ月以内の死亡である。

今之を大阪市に就て見ると大正五年より大正九年に至る平均に於ては生後一ヶ月以内の乳兒死亡は全國平均に比し遙かに低率で總乳兒死亡の三％に相當して居る。而し其過半数は先天性弱質死亡である。再言するに發育不全、先天性弱質、生活力薄弱或は羸弱等の死因のもとに生後一ヶ月以内に死亡せしものは、大阪市の乳兒死亡總數千中一七三である。従つて乳兒の死因を調査するに當り、其主要なる對象として先づ生後一ヶ月以内の夭折者を考慮せざるべからざるは必至の勢である。

繼に當府に於て大阪市に於ける乳兒死亡調査を企つるに當り、乳兒死因中先づ發育不全死因に關する調査を主要事項の一として加へたるは主として敍上の理由に基くものである。而して本篇の調査の如きは死因を遠く胎內的に發するもの多く、從て實地調査を行ふには、至難なるものがあるが敢て調査を進めたる所以のものは獨り發育不全に因する乳兒死亡率の低下に資せんとするに止まらず同時に一般乳幼兒の體質改善並に乳兒保護母性保護に關し資する所尠からざるべしと思考したからである。

### 一、先天性弱質死亡乳兒と早産との關係

先天性弱質死亡乳児の原因を攻究するに當り、其原因が果して妊娠時に於ける攝生の良否に基因するが將又母子の體質に原因するものなるかは、尤も主要なることである。茲に調査資料千〇十二例に就て先づ其早熟産の關係を見るに其狀況は左の通りで、從來先天性弱質として掲げられたる乳児死因中には相當早熟産兒があることは想像して居つたが、在來の統計書には之等を區別して記載したものが無い、然しながら本調査の成績に依ると早熟産兒は六四・六%もあるのであるから、將來母性及び乳児の保護を攻究するに當つては斯くの如く、先天性弱質死因中には早熟産兒があると謂ふことを考慮せなければならぬと思ふ。

先天性弱質死亡乳児の早熟産關係

| 生活期間           | 早   |       | 産   |       | 熟    |        | 産  |   | 計  |   |
|----------------|-----|-------|-----|-------|------|--------|----|---|----|---|
|                | 實數  | %     | 實數  | %     | 實數   | %      | 實數 | % | 實數 | % |
| 生後五日以内死亡       | 三四〇 | 六四・五三 | 一八七 | 三五・四八 | 五三七  | 一〇〇・〇〇 |    |   |    |   |
| 生後五日—一ヶ月以内死亡   | 三三五 | 七二・二二 | 九五  | 二六・七九 | 三三〇  | 一〇〇・〇〇 |    |   |    |   |
| 生後一ヶ月以上一ヶ年以内死亡 | 七九  | 五〇・九七 | 七六  | 四九・〇三 | 一五五  | 一〇〇・〇〇 |    |   |    |   |
| 計              | 六五四 | 六四・六三 | 三五八 | 三五・三八 | 一〇一一 | 一〇〇・〇〇 |    |   |    |   |

更に上記の早熟産を在胎月數別に分ち其生活期間を觀るに左の如くである。茲に附言して置くのは本調査は醫師の診斷書病名に基き本病を蒐集したもので乳児の生活期間より考ふれば先天性弱質なる病名

を附するには不合理なるものがある。それで以下調査の成績は主として生後五日以内に斃れたるものに就て述べやうと思ふ。

早熟産兒の在胎月數と生活期間

| 在胎生活月數 | 五日以内死亡 |       | 六—十日以内死亡 |       | 十一—十五日以内死亡 |       | 十六—一ヶ月以内死亡 |       | 生後一ヶ月以内死亡合計 |       | 一ヶ月以上一ヶ年以内死亡 |       | 合計   |       |
|--------|--------|-------|----------|-------|------------|-------|------------|-------|-------------|-------|--------------|-------|------|-------|
|        | 實數     | %     | 實數       | %     | 實數         | %     | 實數         | %     | 實數          | %     | 實數           | %     | 實數   | %     |
| 七ヶ月    | 四九     | 九・三   | 八        | 七・二   | 二          | 二・八   | 六          | 四・二   | 六五          | 七・六   | 一            | 一・一   | 六五   | 六・四   |
| 八ヶ月    | 一三六    | 三三・九  | 三四       | 三〇・二  | 一三         | 一八・三  | 四二         | 二八・二  | 二四          | 二五・〇  | 二八           | 一八・二  | 二四三  | 三三・九  |
| 九ヶ月    | 一六五    | 三三・三  | 四二       | 三六・二  | 三六         | 五〇・七  | 五四         | 三七・〇  | 二九六         | 三四・五  | 五二           | 三三・九  | 三四七  | 三三・三  |
| 計      | 三四〇    | 六四・五  | 八三       | 七三・五  | 五〇         | 七二・八  | 一〇二        | 六九・三  | 五七五         | 六七・二  | 七九           | 五〇・〇  | 六五四  | 六四・六  |
| 早熟産    | 一八七    | 五五・五  | 三〇       | 二六・五  | 二〇         | 二八・二  | 四四         | 三〇・八  | 二八三         | 三三・九  | 七六           | 四九・〇  | 三五八  | 三五・四  |
| 合計     | 五二七    | 一〇〇・〇 | 一一三      | 一〇〇・〇 | 七二         | 一〇〇・〇 | 一四六        | 一〇〇・〇 | 八五七         | 一〇〇・〇 | 一五五          | 一〇〇・〇 | 一〇一一 | 一〇〇・〇 |

上表によれば早熟産中妊娠八ヶ月以上の者は極めて多く七箇月のものは甚だ少ない。斯くの如く妊娠末期に早熟産の多きことは其原因は他にあるかも知れないが恐らく相當の數は母性の攝生よろしからざるに原因するものがあると思はれる。

第二、先天性弱質死亡乳児の身分と早熟との關係

私生兒を産む生母の妊娠時の環境が兒童の體質に及ぼす影響は極めて緊切なるものがある。本調査に

於ては總數中二八・八％は私生兒で、其身分と早産との關係を觀るに其狀況は左表の如くである。

| 在胎月數 | 七ヶ月 |      | 八ヶ月 |      | 九ヶ月 |     | 早産計 |      | 熟産計 |      | 合計  |       |
|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-------|
|      | 實數  | %    | 實數  | %    | 實數  | %   | 實數  | %    | 實數  | %    | 實數  | %     |
| 公生兒  | 二九  | 七七   | 八三  | 三三・三 | 二〇  | 三・〇 | 三三  | 六・九  | 一四三 | 三八・二 | 三七五 | 一〇〇・〇 |
| 私生兒  | 一九  | 一二・五 | 四   | 二・九  | 四   | 二・九 | 一〇八 | 七・二  | 四   | 二・九  | 一五三 | 一〇〇・〇 |
| 計    | 四八  | 九四   | 一三七 | 二四・二 | 一六五 | 三・三 | 三四〇 | 六四・五 | 一八七 | 三五・五 | 五二七 | 一〇〇・〇 |

即ち生産百中公生兒は早産兒六一・九％なるに對し私生兒は七一・一％で遙かに高く明に、不安定なる境遇が妊娠に及ぼす影響を窺ふに足るものである。

要するに本項の成績は發育不全死亡殊に早産と妊婦の境遇との關係が極めて密接なることを物語るものである。

第三、早産と季節との關係

先天性弱質死亡乳兒に就て其兒童が出生當時早産なりしや又熟産なりしかを調査し、之を季節的に觀察するに其狀況は左の如くである。夏季又は秋季に出生したものは早産の割合が最も高い。そして冬季に出生したものは之に次ぎ、春季出生のものは最低率である。即ち本調査の成績により考ふれば人家稠密なる都市に於ける妊婦は夏季に於て早産するものが最も多いやうである。

|   | 早産  | 熟産   | 早産計 | 熟産計  | 合計  |
|---|-----|------|-----|------|-----|
|   | 實數  | %    | 實數  | %    | 實數  |
| 春 | 五七  | 五二・八 | 五一  | 四七・二 | 一〇八 |
| 夏 | 八九  | 七〇・二 | 三八  | 二九・九 | 一二七 |
| 秋 | 八五  | 六九・七 | 三七  | 三〇・三 | 一二二 |
| 冬 | 一〇九 | 六四・二 | 六一  | 三五・九 | 一七〇 |
| 計 | 三四〇 | 六四・五 | 一八七 | 三五・五 | 五二七 |

第四、早産と生活程度との關係

本調査は總論に述べたるが如く主として中産階級者より資料を蒐集したるものであるから勢ひ其資料は生活程度中又は中以下のものが多く其割合は左の如くである。

| 生活程度別    | 調査實數と割合 |       | 調査實數 |       | %     |
|----------|---------|-------|------|-------|-------|
|          | 實數      | %     | 實數   | %     |       |
| 生活程度上のもの | 五〇      | 九・七   | 五〇   | 九・七   | 九・七   |
| 同 中のもの   | 二五三     | 四九・三  | 二五三  | 四九・三  | 四九・三  |
| 同 下のもの   | 二一〇     | 四〇・九  | 二一〇  | 四〇・九  | 四〇・九  |
| 計        | 五一三     | 一〇〇・〇 | 五一三  | 一〇〇・〇 | 一〇〇・〇 |

茲に多少の缺點あるは免れないが之の資料に依つて生活程度と早熟産との関係を見れば左に示す様で、早産の最も高率なのは生活程度上なるもので、下が之に次ぎ、中は最低率である。然しながら上生活者は前にも述べた様に調査数が少いから他のものと比較するには、あまりに價值が少いやうであるが中及び下は相當の調査数があり、相當確かな數字であると思はれる。斯様に下級者に早産の多いことは妊婦の非衛生的生活又は花柳病其他の疾病的關係が大なる影響を與ふるにあらざらと思はれるのである。

| 生活程度 | 上  |       | 中   |       | 下   |       | 計   |       |
|------|----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
|      | 實數 | %     | 實數  | %     | 實數  | %     | 實數  | %     |
| 早熟産  | 三六 | 七二・〇  | 一五五 | 六一・三  | 一四五 | 六九・〇  | 三三六 | 六五・五  |
| 早産   | 一四 | 二八・〇  | 九八  | 三八・七  | 六五  | 三一・〇  | 一七七 | 三四・五  |
| 計    | 五〇 | 一〇〇・〇 | 二五三 | 一〇〇・〇 | 二二〇 | 一〇〇・〇 | 五一三 | 一〇〇・〇 |

第五、實父母の教育程度

先天性弱質死亡乳兒の實父母教育程度を調査するに左の如くで、生母の教育程度を早産と關聯し觀察するに早産せしものは、尋常高等小學卒業程度のものに最も多く、不就學者は却て僅少である。又早産兒は父の教育程度低級なる者に多い。

|      | 早産せしもの |       |     |       | 熟産のもの |       |     |       | 計   |       |     |       |
|------|--------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
|      | 實數     | %     | 實數  | %     | 實數    | %     | 實數  | %     | 實數  | %     | 實數  | %     |
| 不就學  | 三三     | 六九・七  | 二四  | 六二・五  | 一〇    | 三〇・三  | 一五  | 三八・五  | 三三  | 一〇〇・〇 | 三九  | 一〇〇・〇 |
| 尋常半途 | 四二     | 六七・三  | 八二  | 六六・八  | 二〇    | 三三・八  | 五〇  | 三八・三  | 六二  | 一〇〇・〇 | 一三三 | 一〇〇・〇 |
| 尋常卒業 | 一〇七    | 六九・〇  | 一四三 | 六八・三  | 四八    | 三二・〇  | 六六  | 三七・七  | 一五五 | 一〇〇・〇 | 二〇八 | 一〇〇・〇 |
| 高等半途 | 一〇三    | 六八・八  | 六〇  | 六七・四  | 六二    | 三七・二  | 二九  | 三三・六  | 一六四 | 一〇〇・〇 | 八九  | 一〇〇・〇 |
| 高等卒業 | 一五     | 五七・七  | 一〇  | 四〇・〇  | 一四    | 四八・三  | 一五  | 六〇・〇  | 二九  | 一〇〇・〇 | 二五  | 一〇〇・〇 |
| 中等半途 | 六      | 六六・七  | 一   | 一〇・〇  | 三     | 三三・三  | 一   | 六〇・〇  | 九   | 一〇〇・〇 | 一   | 一〇〇・〇 |
| 同上   | 四      | 五九・三  | 三   | 六五・七  | 三     | 四〇・八  | 二   | 三四・三  | 七   | 一〇〇・〇 | 三   | 一〇〇・〇 |
| 不詳   | 三      | 六四・五  | 三   | 六五・七  | 一     | 三五・五  | 一   | 三五・五  | 六   | 一〇〇・〇 | 五   | 一〇〇・〇 |
| 計    | 三三〇    | 一〇〇・〇 | 三三〇 | 一〇〇・〇 | 一八七   | 一〇〇・〇 | 一八七 | 一〇〇・〇 | 五三七 | 一〇〇・〇 | 五三七 | 一〇〇・〇 |

第六、先天性弱質死亡乳兒の兩親と市内居住期間

發育不全に因する死亡乳兒の兩親が市内に居住し、都市的影響を受けたる歳月を調査し同時に早産との關係を見たるに其狀況は別表の如くである。即ち資料五百二十七例中生活期間の明なるものは父四〇九母三九四で、市内で出生した者即ち父の一八・三%母の二二・〇%を除いた他は大部分は他より移住したものである。

今本調査と密接の關係ある母に就て見るに其三一・六%の多數は都市生活期間五ヶ年を経過せざるものにして此等は移住後環境の急劇なる變化に伴ひ不良なる都市的影響を被りたるものが少なくないと思はれる。茲に都市居住期間と早産との關係を見るに却て五年乃至十年居住のものに早産をなしたる母が割合に多きが如きは畢竟移住當時に於ては婦人の體質強壯なりと雖漸時年月を経過するに従ひ、不利なる都市生活が婦人の體質を變化し妊産婦に及ぼしたるものなるべしと思はるのである。

先天性弱質死亡乳兒の兩親と都市居住期間

| 市<br>内<br>居<br>住<br>期<br>間 | 早<br>熟<br>別<br>父<br>母<br>別<br>實<br>數<br>% | 早      |    | 産      |    | 熟      |    | 産      |     | 計      |     |
|----------------------------|-------------------------------------------|--------|----|--------|----|--------|----|--------|-----|--------|-----|
|                            |                                           | 父      | 母  | 父      | 母  | 父      | 母  | 父      | 母   | 父      | 母   |
|                            |                                           | 實<br>數 | %  | 實<br>數 | %  | 實<br>數 | %  | 實<br>數 | %   | 實<br>數 | %   |
| 〇—五                        | 四六                                        | 六三・〇   | 七六 | 六八     | 三七 | 三七     | 四九 | 七三     | 一〇〇 | 一三五    | 一〇〇 |
| 五—一〇                       | 六四                                        | 七〇・三   | 六二 | 七〇     | 二七 | 二九     | 二五 | 九二     | 一〇〇 | 八六     | 一〇〇 |
| 一〇—一五                      | 五五                                        | 六六・〇   | 三二 | 五八     | 二八 | 三〇     | 四六 | 五三     | 一〇〇 | 三九     | 一〇〇 |
| 一五—二〇                      | 四〇                                        | 六九・〇   | 三三 | 六六     | 二八 | 三〇     | 三三 | 五八     | 一〇〇 | 三四     | 一〇〇 |
| 二〇—二五                      | 一六                                        | 五九・三   | 五  | 五〇     | 二  | 四〇     | 五〇 | 二七     | 一〇〇 | 一〇     | 一〇〇 |
| 二五—三〇                      | 一三                                        | 五九・一   | 五  | 五五     | 九  | 四〇     | 四四 | 二三     | 一〇〇 | 九      | 一〇〇 |
| 三〇—三五                      | 三                                         | 一〇〇    | —  | —      | —  | —      | —  | 三      | 一〇〇 | —      | 一〇〇 |

|       |     |      |     |     |     |     |     |     |   |     |
|-------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|-----|
| 三五—四〇 | 三   | 四〇・〇 | 一   | 三三  | 三   | 六六  | 五   | 一〇〇 | 三 | 一〇〇 |
| 四〇—四五 | 一   | 一〇〇  | —   | —   | —   | 一〇〇 | —   | 一〇〇 | — | 一〇〇 |
| 四五—五〇 | 一   | 一〇〇  | —   | —   | —   | —   | —   | 一〇〇 | — | 一〇〇 |
| 市内出生  | 四四  | 五八・七 | 六二  | 七二  | 三三  | 二八  | 七五  | 一〇〇 | — | 一〇〇 |
| 計     | 二六四 | 六四八  | 二五四 | 六四五 | 一四四 | 三三三 | 四〇九 | 一〇〇 | — | 一〇〇 |

備考 市内居住期の不詳なる者は省く

第七、實父母の同居期間

調査乳兒の實父母の同居期間即ち結婚又は同居の時より乳兒の死亡迄の期間を調査するに一ヶ年以内のもの最も多くて約二割を占めてゐる、そして二年三年のものは之に次ぎ同居後五ヶ年を経過せざるものは總數の五四・〇%である、それから五年—十年未満のものは二一・八%、十年—十五年未満は一・二・八%、十五年以上は一・四%である。

今同居期間と調査乳兒の早熟産の割合を比較するに其狀況は左の如くで、同居期間の延長と共に早熟産の割合は低下して居る、殊に十五年以上、同居のものにありては早熟産の割合よりも遙かに低率となつて居る。斯くの如きは私生子の如き境遇の不利なるものが同居期間短かきものに蒐集し來るの事實が與つて力あるは勿論なるも一は歲月的生活の適應に因るものと思はれるのである。

|         | 早産児 |      | 熟産児 |      | 合計  |       |
|---------|-----|------|-----|------|-----|-------|
|         | 實數  | %    | 實數  | %    | 實數  | %     |
| 五年以内    | 一七八 | 六四・七 | 九七  | 三五・三 | 二七五 | 一〇〇・〇 |
| 五——一〇年  | 七一  | 六四・〇 | 四〇  | 三六・〇 | 一一一 | 一〇〇・〇 |
| 一〇——一五年 | 三九  | 六〇・〇 | 二六  | 四〇・〇 | 六五  | 一〇〇・〇 |
| 一五——二〇年 | 二二  | 四六・八 | 二五  | 五三・二 | 四七  | 一〇〇・〇 |
| 二〇——二五年 | 三   | 四二・九 | 四   | 五七・二 | 七   | 一〇〇・〇 |
| 二五——三〇年 | 三   | 七五・〇 | 一   | 二五・〇 | 四   | 一〇〇・〇 |
| 計       | 三二六 | 六二・二 | 一九三 | 三七・九 | 五〇九 | 一〇〇・〇 |

第八、先天性弱質乳兒死亡と遺傳との關係

遺傳素質に關する調査は既定の項目に就て整理したもので其成績は左の如くである。

|     | 結核梅毒 |     | 血族結婚 |     | 精神病 |     | 癲   |     | 遺傳なもの |     |
|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|
|     | 早産児  | 熟産児 | 早産児  | 熟産児 | 早産児 | 熟産児 | 早産児 | 熟産児 | 早産児   | 熟産児 |
| 合計  | 二二   | 三   | 二五   | 八   | 二   | 一〇  | 一   | 一   | 二七五   | 一六四 |
| 早産児 | 二二   | 三   | 二五   | 八   | 二   | 一〇  | 一   | 一   | 二七五   | 一六四 |
| 熟産児 | 三    | 一〇  | 八    | 二   | 一〇  | 二   | 一   | 一   | 一六四   | 二七五 |
| 合計  | 二二   | 三   | 二五   | 八   | 二   | 一〇  | 一   | 一   | 二七五   | 一六四 |

即ち調査數五百二十七例中遺傳素質を有するものは八十八例で爾餘の四百三十九例は遺傳素質の徴すべきものがない。乍併結核及梅毒の如きは此外に更に多數に潜在せることは疑ふの餘地はないが之等を徹底的に調査することは全く不可能の事である。

今各類別に早産の割合を觀るに結核最も多く梅毒之に次で居る。

之を要するに本調査に於ては結核及び梅毒が主として早産の原因となり居ることは看過すべからざることである。

第九、飲酒調査

先天性弱質死亡乳兒の實父母の飲酒狀況を調査したるに總數五百二十七例中六一・八%は實父の飲酒するもの〇・四%は實母の飲酒するもの〇・六%は實父母共に飲酒するものである。而して實父母共に飲酒せざるものは三五・七%である。

今之を死亡乳兒の早熟産に分ち飲酒との關係を見るに

|           | 早産 |      | 熟産 |      | 合計 |       |
|-----------|----|------|----|------|----|-------|
|           | 實數 | %    | 實數 | %    | 實數 | %     |
| 實父の飲酒するもの | 一九 | 六〇・七 | 一三 | 三九・三 | 三二 | 一〇〇・〇 |
| 實母の飲酒するもの | 三  | 一〇・〇 | 一  | 三・三  | 四  | 一〇・〇  |

| 實父母の飲酒するもの |      | 實父母共に飲酒せざるもの |     | 不詳  |      |
|------------|------|--------------|-----|-----|------|
| 計          | 三    | 一三三          | 四   | 三四〇 | 三    |
|            | 一〇〇〇 | 七〇七          | 五〇〇 | 一八七 | 一〇〇〇 |
|            | 一    | 五            | 四   | 五〇〇 | 一〇〇〇 |
|            | 二九三  | 一八八          | 八   | 五三七 | 一〇〇〇 |

上記の成績を見るに實父母の共に飲酒せざるものは反て早産兒に高率なるは早産と飲酒との關係密接ならざるが如く思はしむるも、實母の飲酒するものには其實例小數なりと雖熟産兒なく總て早産兒なるが如きは注目すべきことで實母の飲酒は胎兒に影響することが多く早産を將來すべき一原因となることは争はれない事である。

第十、兩親の結婚當時の年齢

生後五日以内の死亡乳兒の兩親に就て其結婚當時の母の結婚年齢は二〇歳以下のもの最も多數で年齢階級の増加に従つて低下して居る。そして二五—三〇歳階級以上は急劇に低下して居る。今之を全國婚姻者年齢に比較して見ると

母の結婚年齢

| 全<br>國<br>(大正七年) | 母の結婚年齢 |       |       |       |       |       |       |      |    |       |
|------------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|----|-------|
|                  | 二〇歳以下  | 二〇—二五 | 二五—三〇 | 三〇—三五 | 三五—四〇 | 四〇—五〇 | 五〇—六〇 | 六〇以上 | 不詳 | 計     |
| 本 早 産            | 四四・四   | 三七・二  | 一〇・六  | 二・四   | 一・八   | —     | —     | —    | 三八 | 一〇〇・〇 |
| 調 熟 産            | 四四・四   | 四〇・二  | 一〇・三  | 二・二   | 〇・五   | —     | —     | —    | 二七 | 一〇〇・〇 |
| 查 計              | 四四・四   | 三八・二  | 一〇・四  | 二・三   | 一・三   | —     | —     | —    | 三四 | 一〇〇・〇 |

即ち早熟産別には大なる懸隔を見ないが之を全國(大正七年)の統計に對照すると本調査の結婚年は二〇—二五年齡階級以上は比較的低率であるが之に反して二〇歳以下の年齡階級は著しく高率で二五・九%に對し、四四・四%を示して居る。即ち先天性弱質死亡乳兒の生母は早期に結婚したものが多い。元來本調査の年齢は戸籍上の結婚年齢と多少の相違はあり且つ最も多量に私生子を包含せるが故に勢ひ早婚者の率を高からしむる所以ではあるが、發育不全死亡と生母の早婚との間には相當關係を有することと思はしむるものである。

又父の結婚年齢を見るに

父の結婚年齢

| (全大正七年)國    |             |        |       |       |       |       |       |      |        |      |      |
|-------------|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|------|--------|------|------|
| 本<br>早<br>産 | 調<br>熟<br>産 | 查<br>計 | 三歳以下  |       | 三歳—五歳 |       | 五歳—十歳 |      | 十歳—十五歳 |      | 計    |
|             |             |        | 三・七   | 三・四   | 三・五   | 三・〇   | 三・〇   | 三・五  | 四・〇    | 五・〇  |      |
| 三・五         | 三・四         | 四・三    | 三・七   | 三・四   | 三・五   | 三・〇   | 三・〇   | 三・五  | 四・〇    | 五・〇  | 一〇・〇 |
| 三・七         | 三・八         | 三・九    | 三・八   | 三・六   | 三・七   | 三・四   | 三・三   | 三・六  | 四・一    | 四・二  | 一〇・〇 |
| 三・八         | 三・九         | 四・〇    | 三・九   | 三・七   | 三・八   | 三・五   | 三・四   | 三・七  | 四・二    | 四・三  | 一〇・〇 |
| 三・九         | 四・〇         | 四・一    | 四・〇   | 三・八   | 三・九   | 三・六   | 三・五   | 三・八  | 四・三    | 四・四  | 一〇・〇 |
| 四・〇         | 四・一         | 四・二    | 四・一   | 三・九   | 四・〇   | 三・七   | 三・六   | 三・九  | 四・四    | 四・五  | 一〇・〇 |
| 四・一         | 四・二         | 四・三    | 四・二   | 四・〇   | 四・一   | 三・八   | 三・七   | 四・〇  | 四・五    | 四・六  | 一〇・〇 |
| 四・二         | 四・三         | 四・四    | 四・三   | 四・一   | 四・二   | 三・九   | 三・八   | 四・一  | 四・六    | 四・七  | 一〇・〇 |
| 四・三         | 四・四         | 四・五    | 四・四   | 四・二   | 四・三   | 四・〇   | 三・九   | 四・二  | 四・七    | 四・八  | 一〇・〇 |
| 四・四         | 四・五         | 四・六    | 四・五   | 四・三   | 四・四   | 四・一   | 四・〇   | 四・三  | 四・八    | 四・九  | 一〇・〇 |
| 四・五         | 四・六         | 四・七    | 四・六   | 四・四   | 四・五   | 四・二   | 四・一   | 四・四  | 四・九    | 五・〇  | 一〇・〇 |
| 四・六         | 四・七         | 四・八    | 四・七   | 四・五   | 四・六   | 四・三   | 四・二   | 四・五  | 五・〇    | 五・一  | 一〇・〇 |
| 四・七         | 四・八         | 四・九    | 四・八   | 四・六   | 四・七   | 四・四   | 四・三   | 四・六  | 五・一    | 五・二  | 一〇・〇 |
| 四・八         | 四・九         | 五・〇    | 四・九   | 四・七   | 四・八   | 四・五   | 四・四   | 四・七  | 五・二    | 五・三  | 一〇・〇 |
| 四・九         | 五・〇         | 五・一    | 五・〇   | 四・八   | 四・九   | 四・六   | 四・五   | 四・八  | 五・三    | 五・四  | 一〇・〇 |
| 五・〇         | 五・一         | 五・二    | 五・一   | 四・九   | 五・〇   | 四・七   | 四・六   | 四・九  | 五・四    | 五・五  | 一〇・〇 |
| 五・一         | 五・二         | 五・三    | 五・二   | 五・〇   | 五・一   | 四・八   | 四・七   | 五・〇  | 五・五    | 五・六  | 一〇・〇 |
| 五・二         | 五・三         | 五・四    | 五・三   | 五・一   | 五・二   | 四・九   | 四・八   | 五・一  | 五・六    | 五・七  | 一〇・〇 |
| 五・三         | 五・四         | 五・五    | 五・四   | 五・二   | 五・三   | 五・〇   | 四・九   | 五・二  | 五・七    | 五・八  | 一〇・〇 |
| 五・四         | 五・五         | 五・六    | 五・五   | 五・三   | 五・四   | 五・一   | 五・〇   | 五・三  | 五・八    | 五・九  | 一〇・〇 |
| 五・五         | 五・六         | 五・七    | 五・六   | 五・四   | 五・五   | 五・二   | 五・一   | 五・四  | 五・九    | 六・〇  | 一〇・〇 |
| 五・六         | 五・七         | 五・八    | 五・七   | 五・五   | 五・六   | 五・三   | 五・二   | 五・五  | 六・〇    | 六・一  | 一〇・〇 |
| 五・七         | 五・八         | 五・九    | 五・八   | 五・六   | 五・七   | 五・四   | 五・三   | 五・六  | 六・一    | 六・二  | 一〇・〇 |
| 五・八         | 五・九         | 六・〇    | 五・九   | 五・七   | 五・八   | 五・五   | 五・四   | 五・七  | 六・二    | 六・三  | 一〇・〇 |
| 五・九         | 六・〇         | 六・一    | 六・〇   | 五・八   | 五・九   | 五・六   | 五・五   | 五・八  | 六・三    | 六・四  | 一〇・〇 |
| 六・〇         | 六・一         | 六・二    | 六・一   | 五・九   | 六・〇   | 五・七   | 五・六   | 五・九  | 六・四    | 六・五  | 一〇・〇 |
| 六・一         | 六・二         | 六・三    | 六・二   | 六・〇   | 六・一   | 五・八   | 五・七   | 六・〇  | 六・五    | 六・六  | 一〇・〇 |
| 六・二         | 六・三         | 六・四    | 六・三   | 六・一   | 六・二   | 五・九   | 五・八   | 六・一  | 六・六    | 六・七  | 一〇・〇 |
| 六・三         | 六・四         | 六・五    | 六・四   | 六・二   | 六・三   | 六・〇   | 五・九   | 六・二  | 六・七    | 六・八  | 一〇・〇 |
| 六・四         | 六・五         | 六・六    | 六・五   | 六・三   | 六・四   | 六・一   | 六・〇   | 六・三  | 六・八    | 六・九  | 一〇・〇 |
| 六・五         | 六・六         | 六・七    | 六・六   | 六・四   | 六・五   | 六・二   | 六・一   | 六・四  | 六・九    | 七・〇  | 一〇・〇 |
| 六・六         | 六・七         | 六・八    | 六・七   | 六・五   | 六・六   | 六・三   | 六・二   | 六・五  | 七・〇    | 七・一  | 一〇・〇 |
| 六・七         | 六・八         | 六・九    | 六・八   | 六・六   | 六・七   | 六・四   | 六・三   | 六・六  | 七・一    | 七・二  | 一〇・〇 |
| 六・八         | 六・九         | 七・〇    | 六・九   | 六・七   | 六・八   | 六・五   | 六・四   | 六・七  | 七・二    | 七・三  | 一〇・〇 |
| 六・九         | 七・〇         | 七・一    | 七・〇   | 六・八   | 六・九   | 六・六   | 六・五   | 六・八  | 七・三    | 七・四  | 一〇・〇 |
| 七・〇         | 七・一         | 七・二    | 七・一   | 六・九   | 七・〇   | 六・七   | 六・六   | 六・九  | 七・四    | 七・五  | 一〇・〇 |
| 七・一         | 七・二         | 七・三    | 七・二   | 七・〇   | 七・一   | 六・八   | 六・七   | 七・〇  | 七・五    | 七・六  | 一〇・〇 |
| 七・二         | 七・三         | 七・四    | 七・三   | 七・一   | 七・二   | 六・九   | 六・八   | 七・一  | 七・六    | 七・七  | 一〇・〇 |
| 七・三         | 七・四         | 七・五    | 七・四   | 七・二   | 七・三   | 七・〇   | 六・九   | 七・二  | 七・七    | 七・八  | 一〇・〇 |
| 七・四         | 七・五         | 七・六    | 七・五   | 七・三   | 七・四   | 七・一   | 七・〇   | 七・三  | 七・八    | 七・九  | 一〇・〇 |
| 七・五         | 七・六         | 七・七    | 七・六   | 七・四   | 七・五   | 七・二   | 七・一   | 七・四  | 七・九    | 八・〇  | 一〇・〇 |
| 七・六         | 七・七         | 七・八    | 七・七   | 七・五   | 七・六   | 七・三   | 七・二   | 七・五  | 八・〇    | 八・一  | 一〇・〇 |
| 七・七         | 七・八         | 七・九    | 七・八   | 七・六   | 七・七   | 七・四   | 七・三   | 七・六  | 八・一    | 八・二  | 一〇・〇 |
| 七・八         | 七・九         | 八・〇    | 七・九   | 七・七   | 七・八   | 七・五   | 七・四   | 七・七  | 八・二    | 八・三  | 一〇・〇 |
| 七・九         | 八・〇         | 八・一    | 八・〇   | 七・八   | 七・九   | 七・六   | 七・五   | 七・八  | 八・三    | 八・四  | 一〇・〇 |
| 八・〇         | 八・一         | 八・二    | 八・一   | 七・九   | 八・〇   | 七・七   | 七・六   | 七・九  | 八・四    | 八・五  | 一〇・〇 |
| 八・一         | 八・二         | 八・三    | 八・二   | 八・〇   | 八・一   | 七・八   | 七・七   | 八・〇  | 八・五    | 八・六  | 一〇・〇 |
| 八・二         | 八・三         | 八・四    | 八・三   | 八・一   | 八・二   | 七・九   | 七・八   | 八・一  | 八・六    | 八・七  | 一〇・〇 |
| 八・三         | 八・四         | 八・五    | 八・四   | 八・二   | 八・三   | 八・〇   | 七・九   | 八・二  | 八・七    | 八・八  | 一〇・〇 |
| 八・四         | 八・五         | 八・六    | 八・五   | 八・三   | 八・四   | 八・一   | 八・〇   | 八・三  | 八・八    | 八・九  | 一〇・〇 |
| 八・五         | 八・六         | 八・七    | 八・六   | 八・四   | 八・五   | 八・二   | 八・一   | 八・四  | 八・九    | 九・〇  | 一〇・〇 |
| 八・六         | 八・七         | 八・八    | 八・七   | 八・五   | 八・六   | 八・三   | 八・二   | 八・五  | 九・〇    | 九・一  | 一〇・〇 |
| 八・七         | 八・八         | 八・九    | 八・八   | 八・六   | 八・七   | 八・四   | 八・三   | 八・六  | 九・一    | 九・二  | 一〇・〇 |
| 八・八         | 八・九         | 九・〇    | 八・九   | 八・七   | 八・八   | 八・五   | 八・四   | 八・七  | 九・二    | 九・三  | 一〇・〇 |
| 八・九         | 九・〇         | 九・一    | 九・〇   | 八・八   | 八・九   | 八・六   | 八・五   | 八・八  | 九・三    | 九・四  | 一〇・〇 |
| 九・〇         | 九・一         | 九・二    | 九・一   | 八・九   | 九・〇   | 八・七   | 八・六   | 八・九  | 九・四    | 九・五  | 一〇・〇 |
| 九・一         | 九・二         | 九・三    | 九・二   | 九・〇   | 九・一   | 八・八   | 八・七   | 九・〇  | 九・五    | 九・六  | 一〇・〇 |
| 九・二         | 九・三         | 九・四    | 九・三   | 九・一   | 九・二   | 八・九   | 八・八   | 九・一  | 九・六    | 九・七  | 一〇・〇 |
| 九・三         | 九・四         | 九・五    | 九・四   | 九・二   | 九・三   | 九・〇   | 八・九   | 九・二  | 九・七    | 九・八  | 一〇・〇 |
| 九・四         | 九・五         | 九・六    | 九・五   | 九・三   | 九・四   | 九・一   | 九・〇   | 九・三  | 九・八    | 九・九  | 一〇・〇 |
| 九・五         | 九・六         | 九・七    | 九・六   | 九・四   | 九・五   | 九・二   | 九・一   | 九・四  | 九・九    | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 九・六         | 九・七         | 九・八    | 九・七   | 九・五   | 九・六   | 九・三   | 九・二   | 九・五  | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 九・七         | 九・八         | 九・九    | 九・八   | 九・六   | 九・七   | 九・四   | 九・三   | 九・六  | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 九・八         | 九・九         | 一〇・〇   | 九・九   | 九・七   | 九・八   | 九・五   | 九・四   | 九・七  | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 九・九         | 一〇・〇        | 一〇・一   | 一〇・〇  | 九・八   | 九・九   | 九・六   | 九・五   | 九・八  | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一〇・〇        | 一〇・一        | 一〇・二   | 一〇・一  | 九・九   | 一〇・〇  | 九・七   | 九・六   | 九・九  | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一〇・一        | 一〇・二        | 一〇・三   | 一〇・二  | 一〇・〇  | 一〇・一  | 九・八   | 九・七   | 一〇・〇 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一〇・二        | 一〇・三        | 一〇・四   | 一〇・三  | 一〇・一  | 一〇・二  | 九・九   | 九・八   | 一〇・一 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一〇・三        | 一〇・四        | 一〇・五   | 一〇・四  | 一〇・二  | 一〇・三  | 一〇・〇  | 九・九   | 一〇・二 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一〇・四        | 一〇・五        | 一〇・六   | 一〇・五  | 一〇・三  | 一〇・四  | 一〇・一  | 一〇・〇  | 一〇・三 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一〇・五        | 一〇・六        | 一〇・七   | 一〇・六  | 一〇・四  | 一〇・五  | 一〇・二  | 一〇・一  | 一〇・四 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一〇・六        | 一〇・七        | 一〇・八   | 一〇・七  | 一〇・五  | 一〇・六  | 一〇・三  | 一〇・二  | 一〇・五 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一〇・七        | 一〇・八        | 一〇・九   | 一〇・八  | 一〇・六  | 一〇・七  | 一〇・四  | 一〇・三  | 一〇・六 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一〇・八        | 一〇・九        | 一一・〇   | 一〇・九  | 一〇・七  | 一〇・八  | 一〇・五  | 一〇・四  | 一〇・七 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一〇・九        | 一一・〇        | 一一・一   | 一一・〇  | 一〇・八  | 一〇・九  | 一〇・六  | 一〇・五  | 一〇・八 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一一・〇        | 一一・一        | 一一・二   | 一一・一  | 一〇・九  | 一一・〇  | 一〇・七  | 一〇・六  | 一〇・九 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一一・一        | 一一・二        | 一一・三   | 一一・二  | 一一・〇  | 一一・一  | 一〇・八  | 一〇・七  | 一一・〇 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一一・二        | 一一・三        | 一一・四   | 一一・三  | 一一・一  | 一一・二  | 一〇・九  | 一〇・八  | 一一・一 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一一・三        | 一一・四        | 一一・五   | 一一・四  | 一一・二  | 一一・三  | 一一・〇  | 一〇・九  | 一一・二 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一一・四        | 一一・五        | 一一・六   | 一一・五  | 一一・三  | 一一・四  | 一一・一  | 一〇・一〇 | 一一・三 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一一・五        | 一一・六        | 一一・七   | 一一・六  | 一一・四  | 一一・五  | 一一・二  | 一〇・一  | 一一・四 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一一・六        | 一一・七        | 一一・八   | 一一・七  | 一一・五  | 一一・六  | 一一・三  | 一〇・二  | 一一・五 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一一・七        | 一一・八        | 一一・九   | 一一・八  | 一一・六  | 一一・七  | 一一・四  | 一〇・三  | 一一・六 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一一・八        | 一一・九        | 一二・〇   | 一一・九  | 一一・七  | 一一・八  | 一一・五  | 一〇・四  | 一一・七 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一一・九        | 一二・〇        | 一二・一   | 一二・〇  | 一一・八  | 一二・一  | 一一・六  | 一〇・五  | 一一・八 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一二・〇        | 一二・一        | 一二・二   | 一二・一  | 一二・〇  | 一二・二  | 一一・七  | 一〇・六  | 一二・〇 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一二・一        | 一二・二        | 一二・三   | 一二・二  | 一二・一  | 一二・三  | 一一・八  | 一〇・七  | 一二・一 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一二・二        | 一二・三        | 一二・四   | 一二・三  | 一二・二  | 一二・四  | 一一・九  | 一〇・八  | 一二・二 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一二・三        | 一二・四        | 一二・五   | 一二・四  | 一二・三  | 一二・五  | 一二・〇  | 一〇・九  | 一二・三 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一二・四        | 一二・五        | 一二・六   | 一二・五  | 一二・四  | 一二・六  | 一二・一  | 一〇・一〇 | 一二・四 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一二・五        | 一二・六        | 一二・七   | 一二・六  | 一二・五  | 一二・七  | 一二・二  | 一〇・一  | 一二・五 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一二・六        | 一二・七        | 一二・八   | 一二・七  | 一二・六  | 一二・八  | 一二・三  | 一〇・二  | 一二・六 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一二・七        | 一二・八        | 一二・九   | 一二・八  | 一二・七  | 一二・九  | 一二・四  | 一〇・三  | 一二・七 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一二・八        | 一二・九        | 一三・〇   | 一二・九  | 一二・八  | 一三・〇  | 一二・五  | 一〇・四  | 一二・八 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一二・九        | 一三・〇        | 一三・一   | 一二・一〇 | 一二・九  | 一三・一  | 一二・六  | 一〇・五  | 一二・九 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一三・〇        | 一三・一        | 一三・二   | 一三・一  | 一二・一〇 | 一三・二  | 一二・七  | 一〇・六  | 一三・〇 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一三・一        | 一三・二        | 一三・三   | 一三・二  | 一二・一一 | 一三・三  | 一二・八  | 一〇・七  | 一三・一 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一三・二        | 一三・三        | 一三・四   | 一三・三  | 一二・一二 | 一三・四  | 一二・九  | 一〇・八  | 一三・二 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一三・三        | 一三・四        | 一三・五   | 一三・四  | 一二・一三 | 一三・五  | 一二・一〇 | 一〇・九  | 一三・三 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一三・四        | 一三・五        | 一三・六   | 一三・五  | 一二・一四 | 一三・六  | 一二・一一 | 一〇・一〇 | 一三・四 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一三・五        | 一三・六        | 一三・七   | 一三・六  | 一二・一五 | 一三・七  | 一二・一二 | 一〇・一一 | 一三・五 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一三・六        | 一三・七        | 一三・八   | 一三・七  | 一二・一六 | 一三・八  | 一二・一三 | 一〇・一二 | 一三・六 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一三・七        | 一三・八        | 一三・九   | 一三・八  | 一二・一七 | 一三・九  | 一二・一四 | 一〇・一三 | 一三・七 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一三・八        | 一三・九        | 一四・〇   | 一三・九  | 一二・一八 | 一四・〇  | 一二・一五 | 一〇・一四 | 一三・八 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一三・九        | 一四・〇        | 一四・一   | 一四・〇  | 一二・一九 | 一四・一  | 一二・一六 | 一〇・一五 | 一三・九 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一四・〇        | 一四・一        | 一四・二   | 一四・一  | 一二・二〇 | 一四・二  | 一二・一七 | 一〇・一六 | 一四・〇 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一四・一        | 一四・二        | 一四・三   | 一四・二  | 一二・二一 | 一四・三  | 一二・一八 | 一〇・一七 | 一四・一 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一四・二        | 一四・三        | 一四・四   | 一四・三  | 一二・二二 | 一四・四  | 一二・一九 | 一〇・一八 | 一四・二 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一四・三        | 一四・四        | 一四・五   | 一四・四  | 一二・二三 | 一四・五  | 一二・二〇 | 一〇・一九 | 一四・三 | 一〇・〇   | 一〇・〇 | 一〇・〇 |
| 一四・四        | 一四・五</      |        |       |       |       |       |       |      |        |      |      |

第十二、生活程度と生母の出産数

本調査乳児の生母の調査當時に於ける出産数を生活程度別に調査するに左の如くで、生母一人に對する出産数は平均三・三五で生活程度に就ては大なる差がない。

| 生活程度 | 生母一人に對する出産数 |       |       |       |
|------|-------------|-------|-------|-------|
|      | 上           | 中     | 下     | 計     |
| 詳    | 五〇          | 二五三   | 二一〇   | 一四    |
| 不詳   | 一九六         | 八一八   | 七〇七   | 四五    |
|      | 一、七六六       | 一、七六六 | 一、七六六 | 一、七六六 |
|      | 三・九二        | 三・二三  | 三・三七  | 三・二一  |
|      | 三・三五        | 三・三五  | 三・三五  | 三・三五  |

第十三、調査乳児の同胞の生存と死亡

調査乳児の同胞即ち生母の生産したる兒童を調査したるに調査當時既に死亡せるものは六一・五%にして之を生活程度別に分ち見たるものは左の如くである。  
即ち同胞の死亡割合は生活程度低きものが高率である。

| 生活程度 | 同胞總數に對する死亡兒の割合 |       |       |       |
|------|----------------|-------|-------|-------|
|      | 上              | 中     | 下     | 計     |
| 詳    | 一八五            | 七八一   | 六七八   | 四五    |
| 不詳   | 九八             | 四六八   | 四三八   | 三五    |
|      | 一、〇三九          | 一、〇三九 | 一、〇三九 | 一、〇三九 |
|      | 五三・〇           | 五九・九  | 六四・六  | 七七・八  |
|      | 六一・五           | 六一・五  | 六一・五  | 六一・五  |

第十四、生母の出産と死産

先天性弱質死亡乳児の生母に就て死産と生活程度との關係を見るに其狀況は左の如くで、出産總數に對する死産の割合は下級生活者は四・一%で中流者は稍高く四・五%を示し上流生活者は更に高くして五・六%を示して居る。

| 生活程度 | 出産に對する死産の歩合 |      |      |
|------|-------------|------|------|
|      | 上           | 中    | 下    |
| 詳    | 一九六         | 八一八  | 一八五  |
| 不詳   | 一一          | 三七   | 四五   |
|      | 五・六一        | 四・五二 | 四・五二 |
|      | 四・五二        | 四・五二 | 四・五二 |

|       |     |
|-------|-----|
| 不     | 下   |
| 計     | 詳   |
| 七〇七   | 四五  |
| 一、七六六 | 七九  |
| 二九    | 四・〇 |
| 七七    | 四三六 |

第十五、生母の年齢と生存同胞の健否

調査乳児の生母の年齢別により、調査當時生存同胞の健康状態を調査したるにその状況は左の如くである。

即ち熟産児の同胞にありては健なるもの七九・八％なるに對し早産児同胞の健なるもの七三・五％で著しく低率である。斯る事實は本調査中早産なりし死児の同胞は比較的に虚弱なるを立證するものである。而して敍上の現象は生母の年齢二一―二五歳階級のもの及び三一―三五歳階級のものに最も顯著である。

生母年齢と生存同胞の健否（五日以内）

| 生母年齢<br>歩合<br>否 | 早産別   |       |       |       | 熟産別   |       |       |       | 計     |       |       |       |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|                 | 健     | 中     | 弱     | 不詳    | 健     | 中     | 弱     | 不詳    | 健     | 中     | 弱     | 不詳    |
| 健               | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 二     | 二     | 一     | 一     |
| 中               | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 二     | 二     | 一     | 一     |
| 弱               | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     |
| 不詳              | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     | 一     |
| 計               | 一〇〇・〇 | 一〇〇・〇 | 一〇〇・〇 | 一〇〇・〇 | 一〇〇・〇 | 一〇〇・〇 | 一〇〇・〇 | 一〇〇・〇 | 一〇〇・〇 | 一〇〇・〇 | 一〇〇・〇 | 一〇〇・〇 |

| 一五―二〇歳 | 二一―二五歳 | 二六―三〇歳 | 三一―三五歳 | 三六―四〇歳 | 四一―四五歳 | 四六―五〇歳 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 實數     | 實數     | 實數     | 實數     | 實數     | 實數     | 實數     |
| 一      | 一      | 一      | 一      | 一      | 一      | 一      |
| 一      | 一      | 一      | 一      | 一      | 一      | 一      |
| 一      | 一      | 一      | 一      | 一      | 一      | 一      |
| 一      | 一      | 一      | 一      | 一      | 一      | 一      |
| 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  |
| 一      | 一      | 一      | 一      | 一      | 一      | 一      |
| 一      | 一      | 一      | 一      | 一      | 一      | 一      |
| 一      | 一      | 一      | 一      | 一      | 一      | 一      |
| 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  |
| 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      |
| 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      |
| 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      |
| 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      |
| 五〇・〇   | 五〇・〇   | 五〇・〇   | 五〇・〇   | 五〇・〇   | 五〇・〇   | 五〇・〇   |
| 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      |
| 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      |
| 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      |
| 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      |
| 五〇・〇   | 五〇・〇   | 五〇・〇   | 五〇・〇   | 五〇・〇   | 五〇・〇   | 五〇・〇   |
| 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      |
| 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      |
| 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      |
| 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      | 二      |
| 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  | 一〇〇・〇  |

| 計    |     | 不詳 |    |       |
|------|-----|----|----|-------|
| %    | 實數  | %  | 實數 | %     |
| 七三・五 | 二九九 |    |    | 100.0 |
| 一九・三 | 六   |    |    | 1     |
| 三七   | 一五  |    |    | 1     |
| 三七   | 一五  |    |    | 1     |
| 二〇・〇 | 四〇七 |    |    | 100.0 |
| 七九・八 | 一九四 |    |    | 1     |
| 一六・八 | 四二  |    |    | 1     |
| 一・六  | 四   |    |    | 1     |
| 一・六  | 四   |    |    | 1     |
| 二〇・〇 | 二四三 |    |    | 1     |
| 七五・八 | 四九三 |    |    | 100.0 |
| 一八・三 | 二九  |    |    | 1     |
| 二九   | 一九  |    |    | 1     |
| 二九   | 一九  |    |    | 1     |
| 二〇・〇 | 六五〇 |    |    | 100.0 |

## 第十六、調査乳兒の同胞と其死亡原因

調査乳児の同胞中死亡したるものゝ死因を各其年齢階級毎に別ち之を調査したるに其状況は左の如くである。

[illegible]

|         |     |        |     |        |     |        |
|---------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|
| 一歲—六歲未滿 | 四   | 一五七二   | 二七  | 一七二〇   | 六八  | 一六三七   |
| 六歲以上    | 一八  | 六・九〇   | 六   | 三八二    | 二四  | 五・七四   |
| 計       | 二六二 | 一〇〇・〇〇 | 一五七 | 一〇〇・〇〇 | 四一八 | 一〇〇・〇〇 |

即ち同胞死亡の多數七七・九%は乳兒で一六・二%は幼兒死亡である。今其死因を別表に就て見るに發育不全に因する死亡が最も多數である殊に早産せし調査兒の同胞中で一歳未満で死亡したものは二百二であるが其内九十八例(四八・五%)は發育不全死亡である。そして熟産兒に於ける二三・四%に比べると遙かに高率である。斯ることは本調査兒童殊に早産兒の同胞は、本調査兒童と同じく先天性弱質のために早死するものが多い。

之によつて考察するに度び、先天性弱質兒の生るゝ家庭に於ては虚弱なる兒童多く、然らざるものに於ては之と相反して居る。それで此等を救済するには、どうしても婦人の體質向上並に妊娠攝生を力説せなければならぬ。

生後五日以内死亡乳兒の同胞と其死因

| 發育不全 | 死          |       | 死亡同胞<br>の死因 |
|------|------------|-------|-------------|
|      | 亡同胞<br>の年齢 | 區分    |             |
| 六    | 未滿一歲       | 早産兒同胞 | 計           |
| 一    | 未滿一歲以上     |       |             |
| 一    | 以上七歲       |       |             |
| 九    | 不詳         |       |             |
| 九    | 計          |       |             |
| 二九   | 未滿一歲       | 熟生兒同胞 | 計           |
| 一    | 未滿一歲以上     |       |             |
| 一    | 以上七歲       |       |             |
| 一    | 不詳         |       |             |
| 二九   | 計          |       |             |
| 一三七  | 未滿一歲       | 合     | 計           |
| 一    | 未滿一歲以上     |       |             |
| 一    | 以上七歲       |       |             |
| 一    | 不詳         |       |             |
| 一三八  | 計          |       |             |

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 腸 | 腹 | 盲 | 寄 | 驚 | 胃 | 胃 | 咽 | 肋 | 急 | 肺 | 脊 | 驚 | 瘧 | 腦 | 心 | 皮 |
| 破 | 膜 | 腸 | 生 | 口 | 腸 | 潰 | 喉 | 膜 | 性 |   | 髓 |   |   | 膜 | 臟 | 膚 |
| 裂 | 炎 | 炎 | 虫 | 蒼 | カ | 瘍 | 腫 | 炎 | 炎 | 炎 | 病 | 風 | 瘧 | 炎 | 病 | 病 |

|   |   |  |   |  |   |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|--|---|--|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 |  |   |  | 8 |  |   |   | 1 | 7 |   |   |   | 2 | 4 | 3 | 7 |
|   |   |  |   |  | 4 |  | 1 |   |   | 1 |   |   |   | 4 | 6 |   | 2 |
| 1 | 2 |  |   |  |   |  |   | 3 |   |   | 1 |   |   |   | 2 |   |   |
|   |   |  |   |  |   |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 1 | 4 |  |   |  | 3 |  | 1 | 3 | 1 | 8 | 1 |   |   | 5 | 3 | 3 | 9 |
|   |   |  | 3 |  | 2 |  |   |   | 4 | 4 |   |   | 1 | 8 | 4 | 1 | 5 |
|   |   |  |   |  | 1 |  |   | 1 | 3 | 2 |   |   |   | 3 | 5 |   |   |
|   |   |  |   |  |   |  |   |   |   | 1 |   |   |   |   |   |   |   |
|   |   |  |   |  | 2 |  |   |   |   | 2 |   |   | 1 |   |   |   |   |
|   |   |  | 3 |  | 4 |  |   | 1 | 7 | 7 | 2 | 1 | 3 | 9 | 1 | 5 |   |
|   | 2 |  | 3 |  | 9 |  |   |   | 5 | 2 |   |   | 9 | 8 | 4 | 3 |   |
|   |   |  |   |  | 5 |  | 1 | 1 | 3 | 3 |   |   | 7 | 2 |   | 2 |   |
| 1 | 2 |  |   |  |   |  |   | 3 |   | 1 | 1 |   |   | 2 |   |   |   |
|   |   |  |   |  | 2 |  |   |   |   | 2 |   |   | 1 |   |   |   |   |
| 1 | 4 |  | 3 |  | 6 |  | 1 | 4 | 8 | 5 | 3 | 1 | 7 | 3 | 4 | 4 |   |

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 腫 | 腺 | 腦 | 黃 | メ | 腦 | 臍 | 虛 | 所 | 榮 | 消 | 丹 | 腸 | 肺 | 流 | 脚 | 法 |
|   |   | 破 |   | レ | 水 | 出 |   | 謂 | 養 | 化 |   | 結 | 結 |   |   | 定 |
| 物 | 病 | 裂 | 疽 | ナ | 腫 | 血 | 弱 | 腦 | 不 | 不 | 毒 | 核 | 核 | 感 | 氣 | 染 |

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 |   | 2 | 1 |   |   |   | 1 |   | 3 | 3 |   |   |   | 3 | 8 | 3 |
|   |   |   |   |   | 1 |   |   | 3 |   | 1 |   |   |   | 3 |   | 8 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 1 |   |   |   |   |   |   |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 1 |   | 2 | 1 | 1 |   | 1 | 3 | 3 | 4 |   | 1 | 1 | 7 | 9 | 2 | 3 |
|   | 1 |   |   |   |   | 1 | 3 | 1 | 3 |   |   |   | 2 | 7 | 3 |   |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 2 |   |   |   | 4 |   | 5 |   |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 4 |   |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|   |   | 1 |   |   |   | 1 | 3 | 1 | 5 |   |   |   | 6 | 7 | 2 |   |
|   | 1 | 1 | 2 | 1 |   | 1 | 1 | 3 | 4 | 5 |   |   | 4 | 5 | 6 |   |
|   |   |   |   |   | 1 |   |   | 3 |   | 3 |   |   | 7 |   | 3 |   |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 1 | 1 | 2 | 1 | 5 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 2 |   |   |   |   |   |   |
|   | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 | 4 | 9 |   | 1 | 1 | 3 | 6 | 4 |

| 計   | 不病急瘡心窒機腎 | 名不 | 詳詳病 | 痲痺 | 息死 | 炎 |
|-----|----------|----|-----|----|----|---|
| 二〇三 | 七        | 一  |     |    |    |   |
| 四   | 三        | =  |     |    |    | 一 |
| 一八  | 二        |    |     | 一  |    |   |
| 五〇  | 四七       | 二  |     |    |    |   |
| 三二  | 四七       | 一四 | 一   | =  | 一  | 一 |
| 一二四 | 三        |    |     |    | 一  |   |
| 七   | 一        |    |     |    |    |   |
| 六   | 一        |    |     |    |    |   |
| 四四  | 七        | =  |     |    |    |   |
| 二〇二 | 七        | 五  |     |    | 一  | 一 |
| 三六  | 六        | 一  |     | 一  | 一  |   |
| 六   | 四        | =  |     |    |    | 一 |
| 二四  | 三        |    |     | 一  |    |   |
| 九四  | 八四       | 四  |     |    |    |   |
| 五二  | 八四       | 四九 | 一   | =  | =  | 一 |

第十七、調査兒童の直前に於ける分娩と同胞健否

調査兒童五百二十三名中不詳及び初回分娩のもの百三十八名を除いた爾餘の三百八十五名に就て調査乳兒の直前に於ける分娩出産と生産兒の状況を調査したるに其状況は別表の如くである。即ち出産總數に對する死流産は九・六％で前述の總同胞調査の死流産率四・三％に比して著しく高い。又生産兒三百四十八名に就て調査當時に生存せしや將又死亡せしやに就て調査したるに其結果死亡兒は四三・一％となり前項總同胞調査に比し著しく低率である。而して生産總數に對する乳兒の死亡率は三四・

七％となつて居る。

又死亡兒百五十名に就て其生活期間を見るに百二十一名即ち八〇・六％は乳兒期に死亡したもので其中四八・八％は一ヶ月以内の早死者である。之の關係は前述の總同胞調査成績と略ぼ一致して居る。要するに即先天性弱質死亡乳兒を出したる家庭に於ては上述の如く、直前の同胞に一ヶ月以内の早死者が多く、爲に乳兒期に於ける兒童の死亡を多からしめたること及び死流産の多きことより考ふるに發育不全兒を分娩する生母は其體質不良なるもの多きが如く、又妊娠時の攝生の缺陷或は花柳病との關係に依りこの結果を齎らすものと信ぜらるゝのである。

調査兒童の直前に於ける分娩と其同胞

| 産流死   | 計     | 早産 | 熟産     | 計  |
|-------|-------|----|--------|----|
| 一ヶ月未満 | 二四九一五 | 一八 | 三七一四二三 | 五九 |

| 生         |   |   |    |    |    |    |               |   |   |   |   |    |
|-----------|---|---|----|----|----|----|---------------|---|---|---|---|----|
| 現 童 兒 存 生 |   |   |    |    |    |    | 間 期 活 生 兒 亡 死 |   |   |   |   |    |
| 八         | 七 | 六 | 五  | 四  | 三  | 二  | 不             | 六 | 五 | 四 | 三 | 二  |
| 年         | 年 | 年 | 年  | 年  | 年  | 年  | 計             | ケ | ケ | ケ | ケ | ケ  |
| 〃         | 〃 | 〃 | 〃  | 〃  | 〃  | 未  | 詳             | 年 | 年 | 年 | 年 | 年  |
| 〃         | 〃 | 〃 | 〃  | 〃  | 〃  | 滿  | 〃             | 以 | 〃 | 〃 | 〃 | 未  |
|           |   |   |    |    |    |    |               | 上 |   |   |   | 滿  |
| 一         | 五 | 九 | 一六 | 三四 | 四〇 | 一九 | 九三            | 四 | 一 | 二 | 四 | 九  |
| 一         | 二 | 三 | 一〇 | 二二 | 二〇 | 五  | 五七            | 一 | 一 | 一 | 四 | 四  |
| 二         | 七 | 二 | 二六 | 五六 | 六〇 | 二四 | 一五〇           | 四 | 一 | 一 | 二 | 八  |
|           |   |   |    |    |    |    |               |   |   |   |   | 一三 |
|           |   |   |    |    |    |    |               |   |   |   |   | 六二 |

1100

| 計   | 不   | 初 回 分 娩 | 産     |   |   |     |
|-----|-----|---------|-------|---|---|-----|
|     |     |         | 在 年 齡 |   |   |     |
|     |     |         | 九     | 十 | 十 | 不   |
| 計   | 詳   | 計       | 年     | 年 | 年 | 計   |
|     |     |         | 〃     | 〃 | 〃 | 詳   |
|     |     |         | 〃     | 〃 | 〃 | 〃   |
| 二二二 | 九一  | 三四〇     | 一     | 三 | 一 | 二八  |
| 一二七 | 四七  | 一八七     | 二     | 四 | 一 | 七〇  |
| 三四八 | 一三八 | 五二七     | 五     | 五 | 一 | 一九八 |

前項調査中直前同胞の死亡兒に就て其死因を調査するに其狀況は別表の如くで發育不全死亡が比較的多く、之に次ぐものは消化不良症、胃腸疾患で腦膜炎、痙攣性疾患、呼吸器病、乳兒脚氣等は主なるものである。

| 死 因 | 早 産 | 熟 産 | 計 |
|-----|-----|-----|---|
| 麻 疹 | 二   | 三   | 五 |

1101

| 双<br>胎<br>兒 | 健<br>中<br>弱<br>胎 | 直<br>前<br>健<br>否 |        | 調<br>査<br>兒<br>童 |
|-------------|------------------|------------------|--------|------------------|
|             |                  | 早<br>産           | 熟<br>産 |                  |
| 三           | 六                | 二六               | 九三     | 計                |
| 一           | 一                | 一四               | 五四     | 計                |
| 三           | 七                | 四〇               | 一四七    |                  |

11011

調査乳兒の直前に於ける生存同胞の健康状態

| 双<br>胎<br>感 | 胎<br>虫 | ハ | 吐 | 胸 | 不 |
|-------------|--------|---|---|---|---|
| 計           | の      | ヤ | 病 | フ | サ |
| 詳           | 氣      | 血 | 毒 | 胃 | 胎 |
| 九三          | 二四     | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 五七          | 九      | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 一五〇         | 三三     | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 二           | 三      | 四 | 三 | 四 | 三 |

| 百<br>日<br>咳 | テ | 疫 | 乳 | 腦 | 瘧 | 心 | 氣 | 肺 | 消 | 胃 | 吐 | 胃 | 黃 | 發 | 臍 | 腦 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| フ           | テ | リ | 脚 | 膜 | 支 | 管 | 化 | 腸 | 不 | 潰 | 育 | 水 | 腫 | 血 | 全 | 瘡 |
| 一           | 一 | 一 | 三 | 九 | 五 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 一           | 一 | 一 | 四 | 五 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 一           | 一 | 一 | 四 | 五 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 一           | 一 | 一 | 四 | 五 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 一           | 一 | 一 | 四 | 五 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |

11011

| 不詳 |     |
|----|-----|
| 計  | 三   |
|    | 一三一 |
|    | 七〇  |
|    | 二〇一 |
|    | 四   |

第十八、先天性弱質死亡乳兒の妊娠地

先天性弱質死亡乳兒の妊娠地は殆んど全部市内に於て妊娠したるもので市外より轉任したるものは調査總數中僅々三・％に過ぎない從て調査乳兒の在胎中に於ける都市的影響は殆ど妊娠全經過を通じて享受したものである。

先天性弱質死亡乳兒の妊娠地

| 方 | 地 | 市 |   | 妊<br>娠<br>地 | 調<br>査<br>兒<br>童 | 早<br>産 | 熟<br>産 | 計   |
|---|---|---|---|-------------|------------------|--------|--------|-----|
|   |   | 市 | 内 |             |                  |        |        |     |
| 女 | 男 | 女 | 男 | 女           | 男                |        |        |     |
| 一 | 五 | 一 | 一 | 一六三         | 一三二              |        | 九九     | 二六二 |
|   |   |   |   |             |                  |        | 六一     | 一九三 |
|   |   |   |   |             |                  |        | 二      | 三   |
|   |   |   |   |             |                  |        | 三      | 四   |
|   |   |   |   |             |                  |        |        | 五   |

| 不詳 |     |
|----|-----|
| 計  | 四一  |
|    | 一六  |
|    | 二二  |
|    | 一九  |
|    | 一二〇 |
|    | 六七  |
|    | 三一一 |
|    | 二二六 |

第十九、先天性弱質死亡乳兒の生母の妊娠時に於ける職業

調査乳兒の生母の妊娠時に於ける職業を早熟産別に分ち調査したるものは左表の如くで調査數の七一・九％は家事のみに従事し二八・一％は家事の傍ら一定の職業あるものである、そして其内五・九％は家庭外に職業を有するものである。  
今家事の傍ら職業あるものを其勞作狀況により坐位又は立位に分ち之を早熟産との關係に就て觀るに其狀況は左の通りである。

先天性弱質死亡乳兒の生母の妊娠時に於ける職業

| 家事のみのもの | 早産兒の生母 | 熟産の生母 | 計    |
|---------|--------|-------|------|
|         |        |       |      |
| 三四      | 六三     | 一三〇   | 三六七  |
|         |        |       | 三六   |
|         |        |       | 一〇〇〇 |

| 家事の傍の職業あるもの |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 計           | 家庭内   |       |       | 家庭外   |       |       | 計     |       |       |
|             | 計     | 立位    | 坐位    | 計     | 立位    | 坐位    | 計     | 工場    | 立位    |
| 三三          | 七〇    | 三五    | 三五    | 一九    | 八     | 一〇    | 一     | 八     | 一〇    |
| 六三八         | 六三五   | 六四八   | 六〇三   | 六三三   | 八〇〇   | 五三六   | 一〇〇〇  | 六二七   | 八〇〇   |
| 一八三         | 四三    | 一九    | 二三    | 二     | 二     | 九     | 一     | 五     | 二     |
| 三六三         | 三七五   | 三五二   | 三九七   | 三六七   | 二〇〇   | 四九四   | 一     | 三七三   | 二〇〇   |
| 五〇六         | 一二    | 五四    | 五八    | 三〇    | 一〇    | 一九    | 一     | 一四三   | 一〇    |
| 100.0       | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

即ち早産児の生母は家事の傍、職業あるものは六二・七%で、家事のみのも六四・三%に比して寧ろ低率で大なる差がない、然しながら同じく職業ある婦人にしても家庭外に職業を有するものは早産児

の割合が多少とも多く、更に坐位の職業よりも立位の職業に従事するものに早産が多い様である、併しながら之等は調査の数が少いから確實に判断することが出来ない。其勞作状況と早産との關係は本調査にありては之を明かに識ることは出来なかつた、乍併家事のみに従事する婦人の早産率と一定の職業を有する婦人の早産率が殆んど大差がないのは首肯しがたいところで寧ろ家事のみに従事する婦人の早産率が比較的高いのではあるまいかと思はれる。

第二十、有業婦人の産前休養と其就業時間

生母の職業上分娩前の休養を調査するに、家事のみのもは分娩前特に休養せしと云へるものは殆んど稀である、而して有業婦人の産前休養に就ては左の如くで、家庭内有業者は二八・一%家庭外有業者は七二・七%休養して居る、そして休養期間は平均四週間が最も多く八週間十二週間のものに次で居る、而して家庭内有業者は最短二週間より二十四週で、家庭外有業者は最短四週より二十八週に亘つて居る。又就業時間は家庭内の有業者は三時間より十七時間に亘り、家庭外の有業者は八時間より十二時間で十時間乃至十二時間のものが最も多い。

| 家庭内有業者 | 休養せしもの |      | 休養せざるもの |    | 計  |
|--------|--------|------|---------|----|----|
|        | 一八     | 二八・一 | 四六      | 七九 | 六四 |